

Ⅲ. 産学官連携イベント

1. CBC主催イベント

(1) CBCセミナー

平成 25 (2013) 年 2 月 28 日 (木)、北海道新聞小樽支社内の道新ホール (小樽市) において「CBCセミナー」を開催しました。今回は「街の元気づくり！課題をビジネスチャンスに」をテーマに情報工学と観光論からの 2 件の講演が行われました。

木村泰知准教授は「情報工学からのアプローチ」と題して、情報工学を活用して地域活性化に参画している事例を紹介しました。iPad mini を参加者に配布し、SNS による意見収集、歩行訓練ソフト「あしぶみさんぽ」を実演し、またデジタルサイネージに関して、小樽でどのように活用するのか提案もありました。

近藤真弘氏は「観光を軸とした地域活性化」とし、星野リゾート・トマムや函館などの事例をまじえながら、地域活性化のための方策を講演いただきました。観光業の発展にはマーケットや取り組みに関する事例分析が必要であること、部分的単発的にイベントを開催するのではなく、街全体を活かしつつ個性的な魅力を構築すること、そして他機関との連携の重要性に言及されました。

参加者は約 80 名で、プログラムは以下のとおりでした。

14 : 00-14 : 05 センター長挨拶

李 濟民 (ビジネス創造センター長)

14 : 05-15 : 15 講演「情報工学からのアプローチ」

木村 泰知 (小樽商科大学商学部社会情報学科准教授)

- ・あしぶみさんぽ
- ・デジタルサイネージによる広告
- ・後志収穫祭のイベント運用
- ・議会会議録コーパスの地域変異抽出

15 : 25-16 : 35 講演「観光を軸とした地域活性化」

近藤 真弘 (地域の魅力研究所理事、前 株式会社星野リゾート・トマム代表取締役)

司会 : 北川 泰治郎 (小樽商科大学ビジネス創造センター准教授)



李濟民センター長



木村泰知准教授



近藤真弘氏(右)と北川泰治郎准教授(左)



会場の様子

(2) 産学官連携研究成果報告会

平成 25 (2013) 年 3 月 7 日 (木)、KKR ホテル札幌 (札幌市中央区) にて「小樽商科大学ビジネス創造センター産学官連携研究成果報告会」を開催し、中村秀雄教授による講演と提携コンサルタント 3 名を迎えたパネルディスカッションを行いました。

中村教授は「北海道の国際取引の推進に向けて」というタイトルで、10 年にわたって活動した国際取引契約研究会や国際取引についてアドバイスした道内企業の事例を紹介しました。多くの研究会会員を通じて道内企業に国際的知見が共有されたことが示され、貿易実務ノウハウ提供方法の提案もありました。

パネルディスカッションでは李センター長、北川准教授から CBC ビジネスサポートの紹介が行われ、3 名のパネリストそれぞれの視点から北海道の産業振興への提言がなされました。ソーシャルビジネスという切り口から北海道への貢献を真剣に考えた展開となりました。

参加者は 55 名で、プログラムは以下のとおりでした。

- 14:00-14:10 センター長挨拶
李 濟民（ビジネス創造センター長）
- 14:10-15:20 講演「北海道の国際取引の推進に向けて
－国際取引契約研究会の10年の歩み、その他－」
中村 秀雄（小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻
教授）
- 15:30-16:45 パネルディスカッション「CBCビジネスサポートの展開
－北海道のさらなる産業振興を目指して－」
パネリスト（小樽商科大学ビジネス創造センター提携コンサルタント）
葛西 さとみ（行政書士、カサイオフィス代表）
後藤 英之（中小企業診断士、後藤英之中小企業診断士事務所代表）
吉本 平史（中小企業診断士、A.Archive 株式会社代表取締役）
モデレータ
李 濟民（小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専
攻教授、ビジネス創造センター長）
北川 泰治郎（小樽商科大学ビジネス創造センター准教授）



中村秀雄教授



パネルディスカッション

（3）特別セミナー『北海道発！食品産業の東アジア展開～韓国・中国市場をめざして～』

平成 25（2013）年 3 月 25 日（月）、ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）にて、ビジネス創造センター特別セミナー『北海道発！食品産業の東アジア展開～韓国・中国市場をめざして～』を開催しました。

本セミナーはノーステック財団の支援のもと、また小樽商科大学の重点領域研究として進められた韓国の国立全北（チョンブク）大学、全州紀全（チョンジュキジョン）大学、日本の天使大学との共同研究の成果をふまえ、北海道の食品産業が取り組むべき課題を考えるもので、文部科学省特別運営費交付金「開放型知的プラットフォームによる連携事業」の一環として開催されました。



パネルディスカッション

参加者は食品業界、行政機関等、大学、メディアなどから約40名で、味覚構造の相違をふまえた新たなマーケティングのあり方について議論を深めました。

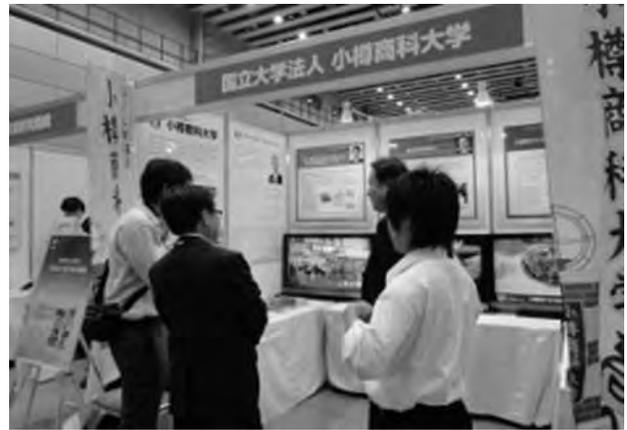
プログラムは次のとおりでした。

- 13:30-13:40 センター長挨拶
李 濟民（ビジネス創造センター長）
- 13:40-14:25 基調講演1「海外展開におけるブランディングの重要性とマーケティング
～三慶グループの挑戦～」
合田 学剛（三慶グループ総括代表取締役、社団法人北海道食品産業協議会理事）
- 14:25-15:10 基調講演2「韓日両国消費者の日本食品に対する味覚、嗜好度の比較分析
～魚醤とスープカレーを事例として～」
嚴 英淑（オム・ヨンスク、全北大学経済学部教授）
- 15:25-17:00 パネルディスカッション
合田 学剛
嚴 英淑
荒川 義人（天使大学看護栄養学部栄養学科教授）
幸恵 知浩（財団法人くまもとテクノ産業財団産学連携推進センターバイオクラスター推進室参事、九州地域バイオクラスター推進協議会事務局）
森下 惟一（財団法人くまもとテクノ産業財団バイオ専門アドバイザー）
モデレータ
李 濟民（小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授、ビジネス創造センター長）

2. 出展イベント

(1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア2012

平成24(2012)年8月7日(火)、北洋銀行ものづくりテクノフェア2012が札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)にて開催されました。フェアは2007年から始まり、今年で6回目となります。開催目的は「優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関等が一堂に会する場を提供し、販路拡大や企業間連携の促進、情報交換や技術交流を通じて、北海道のものづくり産業の振興を図る」ことです。今年は過去最多の172社・団体の出展、来場者数も約3800名にのびりました。



小樽商科大学のブース

小樽商科大学は「産学官金連携コーナー」に出展し、大学、ビジネススクールの紹介のほか、3名の教員(中村秀雄教授、木村泰知准教授、深田秀実准教授)の活動をポスターとモニター映像で展示しました。

当日は李済民センター長、澤田芳郎副センター長、北川泰治郎准教授、木村泰知准教授、今野茂代助手、丸山亨介企画・評価室企画・評価係長、高山慎太郎企画・評価室研究協力係員が参加し、多くの来場者に対応しました。また、学部やビジネススクール卒業生もブースに立ち寄り、充実した情報交換が行われました。

(2) ビジネスEXPO「第26回 北海道 技術・ビジネス交流会」

平成25(2013)年11月8日(木)～9日(金)の2日間、ビジネスEXPO「第26回 北海道 技術・ビジネス交流会」がアクセスサッポロ(札幌市白石区)にて開催されました。このイベントは道内や関連地域の企業や大学がIT、ものづくり、環境、食関連などさまざまな分野の最新技術を展示し、商談へもつなぐ北海道最大のビジネスイベントです。毎回テーマ設定があり、今年のテーマは「北海道 価値創造! ～つなぐ力で未来へ～」でした。291社・団体が参加し、来場者数も2日間で17,033人にのびりました。

小樽商科大学は、「学術・試験研究機関展示ゾーン」に出展し、ポスター、パンフレットによる大学、ビジネススクールの紹介のほか、ポスターとデジタルサイネージを駆使して、教員と学生の活動の紹介を行いました。ポスターは次のとおりでした。

- 中村秀雄教授「超実践国際取引」
- 木村泰知准教授(株式会社SEA-NA)「小樽駅デジタルサイネージ」

● 深田秀実准教授「AR（拡張実現感）を用いた観光情報提供システム」

デジタルサイネージは木村泰知准教授指導の学生が起業した株式会社 SEA-NA の作成で、実際に小樽駅で稼働しているものです。また、木村准教授がノーステック財団の福祉産業共同研究助成事業で研究を進めている歩行訓練ソフト「あしぶみさんぽ」の体験も実施しました。

会場では李済民センター長、澤田芳郎副センター長、北川泰治郎准教授、木村泰知准教授、今野茂代助手、八木美澄事務補佐員、田中志帆事務補佐員が来場者の対応にあたり、展示の説明、情報交換などを行いました。



教員のポスターと映像資料